

とから、一部を活用することを決めた。

県の計画では、総事業費約84億円を見込み、企業庁が67億円をかけて造成や分譲などを実施。小野市が17億円の整備を負担する予定。21年度の完成、19年度からの一部分譲開だ。50歳未満の新規就業者の増加や経営の安定につながる狙いに貸し出す仕組み。

また、林業設備のリース向けには7800万円を計上。県森林組合連合会に事業費を補助し、同連合会を通じて地域の森林組合や丸太の生産業者などに、高性能林業機械を貸し出す。

東京で東播磨物産展

三井住友銀本店に60種並ぶ

東播磨地域の多彩な味覚や地場産品を知ってもらおうと、東京・丸の内三井住友銀行本店で17日、行員や従業員向けの物産展が始まった。18日まで。

同銀行が全国各地の自治体と呼掛け、2012年から随時開催。今回、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町の2市2町が初めてブースを出した。本店



東播磨の逸品が並んだ物産展＝東京丸の内、三井住友銀行

活用セミナー

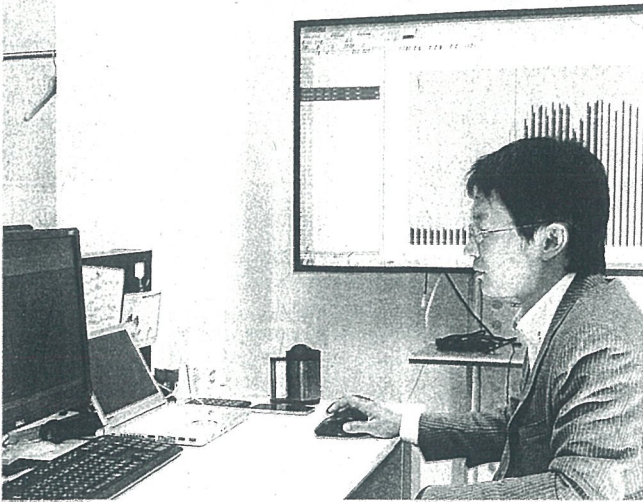
来月、阪神間で尼崎信用金庫(尼崎市)は3月、創業者向けの補助金活用セミナーを、阪神間の4商工会議所で開く。

中小企業診断士を講師に招き、補助金の概要や活用事例などを学ぶ。各会場とも先着20人、無料。

午後6時半～8時半。申込書は、ホームページや店頭で取り寄せ可能。尼崎信金地域支援部 ☎06・6412・5443

電力小売り 川重商事も事業参入

関電管内で中小企業向け



川重商事の電力小売り事業の拠点となる「需給センター」(東京都千代田区)(同社提供)

川崎重工工業の子会社で機械などを扱う商社、川重商事(神戸市中央区)は17日、4月から関西電力管内で、電力小売り事業に本格参入することを明らかにした。中小規模の工場やオフィスビル、店舗を対象に年間の電気料金を現行より最大3割安くし、関電などからの切り替えを促す。

同社は、川重が7割を出資しており、昨年7月に関東で電力小売り事業を始めた。4月から関西でも本



約200人も、取引先に電力事業を売り込む体制を整える。

同事業に新規参入する電力会社(新電力)は増え続け、関西でもシェアが1割を超えたIIグループ。ただ、各社とも営業体制が追いつかない状況とされる。川重商事は営業担当を

動員して約5千社の既存取引先を対象に開拓を進める。

昨年5月には、関西を始めて電力需給を調整するための拠点「需給センター」を東京に開設。4月から自由化客を開拓できる余地はまだ大きい。メリットを提示して契約増につなげたい」と話している。(高見雄樹)

TASAKI、三重・英虞湾で

今春にも真珠養殖へ

真珠・宝飾品のTASAKI(神戸市中央区)は17日、三重県の英虞湾で真珠の養殖を始める予定だと明らかにした。同社が三重県に養殖場を持つのは初めて。地元漁協の了解

を得ており、同県などへの申請が認められれば春にも稼働するとい

同社は1954年創業。当初は真珠の加工、販売が中心だったが、79年に別会社だった養殖部門を吸収し養殖事業を強化。ピーク時には長崎県や熊本県など九州を中心に国内8カ所に養殖場を所有していた。

しかし、2000年代に入り中国産の台頭などで業績が悪化。09年に7カ所を閉鎖し、現在、国内は長崎県・九十九島の1カ所だけとなっている。

三重での養殖事業は、業績が好調であることから自社養殖比率を高める狙い。産地の特徴を生かした商品づくりにつなげたいという。自然災害に対するリスク分散などの目的もある。

(中務庸子)